



学んで楽しい  
歴史散歩!



# かつらぎ しゅげん 葛城修験 歴史マップ

えんのぎょうじゃ  
岬町に残る役行者ゆかりの地を訪ねて

日本遺産  
とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の伝統・文化を語る「ストーリー」を日本遺産として文化庁が認定する制度。そのストーリーのもととなる有形・無形の文化財を積極的に活用して地域振興につなげることを目的に、2015年に創設されました。

今に伝わる  
えんのぎょうじゃ  
役行者  
ゆかりの地を  
ご案内します!



歴史って  
おもしろいね

岬町産業観光促進課  
〒599-0392 大阪府泉南郡岬町深日2000-1  
072-492-2730  
072-492-5422  
http://www.town.misaki.osaka.jp/  
e-mail:kankou@town.osaka-misaki.lg.jp

## かつらぎ しゅげん 葛城修験について



「葛城修験-里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」が令和2年6月 日本遺産に認定されました。大阪と和歌山の府県境を東西に走る和泉山脈、大阪と奈良の府県境に南北に聳える金剛山地-この峰々一帯は「葛城」と呼ばれ、多くの神々が住まう山として人々に崇められてきました。今から約1300年以上前、その山の麓に生まれたのが、修験道の開祖と言われている役行者(えんのぎょうじゃ)であり、役行者が最初に修行を積んだのがこの地だと言われています。役行者は、この地に法華経八巻二十八品を一品ずつ埋納したと伝えられ、その法華経が納められた一番から二十八番の経塚とその周辺の滝や巨石、寺社、祠などを巡って行う修行や行場を総称し「葛城修験」と言われています。岬町には、孝子の高仙寺に修験道の開祖・役行者の母の墓や行者堂があり、和歌山市加太友ヶ島から始まる葛城二十八宿のうち、二の宿には、第二経塚・神福寺跡(岬町西畑)、慈眼院(岬町佐瀬川)などが岬町域に現存しています。

### 葛城二十八宿経塚

※法華経二十八品及び経塚の名称、所在地については諸説あります。



## しんぷくじあま にのしゅくかんのおんどう ほうばんぼん 神福寺跡(二ノ宿観音堂)方便品

葛嶺雑記によれば、二ノ宿神福寺の項に「本堂十一面、役行者座禪石、善女ケ池、高祖堂、其の側に塚あり。妙方便品第二の地」と記されています。この一帯は明治期に軍用地として国に徴用され、今もその跡地は廃寺のままです。僧房跡地に和泉砂岩で造られた石祠一基があり、これを第二経塚としています。近くには善女ケ池跡とする小池があります。明治時代に廃寺になった後、本尊十一面観音菩薩像、役行者像は、和歌山市にある西念寺に移されています。



第二経塚です

<神福寺(二ノ宿観音堂)方便品まで>  
南海電鉄多奈川線多奈川駅から 約8450m/徒歩約3時間20分  
南海電鉄多奈川線多奈川駅からコミュニティバスで約30分  
岬町コミュニティバス佐瀬川バス停下車 徒歩約30分

## こうせんじ きょうしかんのん 高仙寺(孝子観音)



<高仙寺山門まで>  
南海電鉄本線孝子駅から約870m/徒歩約20分

高野山(たかのやま)の麓にある高仙寺は、地元では「孝子の観音さん」として親しまれています。702(大宝2)年、役行者が開基したと言われており、元は真言宗でしたが、元禄年間に曹洞宗永平寺派に転宗したとされています。本尊は、役行者一刀三礼作の十一面観世音菩薩で秘仏とされ、厨子の前には模作の菩薩が立っています。境内には、葛城二十八品の経塚について書かれた「重営経塚碑銘」の石碑や行者堂があり、本堂の奥には、役行者像の石祠と「役行者母公の墓」とされる石積が残されています。本尊について、高仙寺所蔵の「観世音菩薩由来書」に、今から千三百年ほど前、吉野の山奥に清太夫という仙人が住んでおり、その家の隅に古い柏の木がありました。その木が夜な夜な震動し、光を放ちはじめたので清太夫が不思議に思っていたところ、ある夜、夢枕に一人の老僧が立ち、「十一面観世音を作り泉州日根郡孝子村七尾谷の山へ奉納すべし、急ぎか木を伐って吉野川に流すべし、我こそ役行者なり」とお告げがありました。教えの通りに木を伐って吉野川に流し、清太夫は後をついて川を下ると、紀州松江の浦に着きました。市兵衛という人が拾い上げたので、清太夫は「これは泉州上孝子村七尾谷の観音に刻む木です」と事の次第を話しました。孝子まで運ぼうとしたところ、その大きな木が軽々と持ち上げられたということです。早速、京都へ仏師を頼みに行こうと出立したところ、途中で一人の老僧に出会い、このことを述べると「もはや観世音は夜前出来させ給う、早々帰り給え」と言われ孝子村に戻ると、御丈六尺二分(約二メートル)の観音像が出来上がっていました。役行者六十歳の時の一刀三礼の作であるとの記述があります。

## じげんいん かんのおんじ 慈眼院(観音寺)



岬町の最も南の集落佐瀬川に建つこの寺は、地元では「観音寺」の名称で知られています。役行者草創の葛城二十八宿の二ノ宿にあてられ、安置されている役行者自ら刻まれたという十一面観音菩薩像は秘仏とされています。葛嶺雑記によれば、二ノ宿明鏡山慈眼院の項で「天台。別当は山田防。俗称山田孫大夫。九頭竜明神。本堂十一面。神変太士。金銅童子。山上に熊野権現有り。」と記されています。本堂横の地藏堂は、かつての観音堂で、天正の年号の入った地藏菩薩像が立っており、喚鐘も元禄期のものです。阿弥陀如来も本尊仏として安置されているのは、1629(寛永6)年に僧明秀が中興して浄土宗に転宗したからだろうと想像されます。

<慈眼院(観音寺)まで>  
南海電鉄多奈川線多奈川駅から 約7770m/徒歩約2時間50分  
南海電鉄多奈川線多奈川駅からコミュニティバスで約30分  
岬町コミュニティバス佐瀬川バス停下車 徒歩約3分



# かつらぎ しゅげん 葛城修験 歴史マップ

えんのぎょうじや 岬町に残る役行者ゆかりの地を訪ねて



じげんいん かんのおんじ 慈眼院(観音寺)  
しんぷくじあと 二のしゆくかんのおんどう 神福寺跡(二之宿観音堂)  
ほうべんぼん 方便品

こうせんじ きょうしかんのん 高仙寺 (孝子観音)



高仙寺の本尊は、役行者の作と言われる十一面観世音菩薩。秘仏とされていることから、厨子の前には模作の菩薩が立っています。境内には、葛城二十八品の経塚について書かれた「重堂経塚碑銘」の石碑や行者堂があります。また本堂奥には、役行者像の石祠と「役行者母公の墓」とされる石積が残されています。

高仙寺(孝子観音)

孝子駅から高仙寺山門まで 約870m/徒歩約20分

QRコードからアクセスすると、GPS機能により現在位置を表示し、迷わずに散策できます。



『みさっきー』が 岬町をご案内します!



## 孝子<きょうし> ひてくちメモ

孝子と書いて「きょうし」。その名の由来として、伝承されてきた二つ物語が残されています。その一つが役行者にまつわるものです。役行者は呪術にまつわる数多くの伝説が残る人物。その彼の能力を弟子のひとりが妬み「妖術で人心を惑わす悪しき人物」と訴えを起こします。役人たちが彼を捕まえようとしたが、姿を隠してしまっただため、策を練り彼の母を人質に。それを知った役行者は母の身のつらさと思い、自ら名乗り出でやむなく罪を認めこの地で捕らえられたという、子が親を思う「孝行」のお話です。(経緯などには諸説あり)

歴史巡りを 楽しもう!



第2経塚の看板あり

しんぷくじあと 二のしゆくかんのおんどう 方便品 神福寺跡(二之宿観音堂)

多奈川駅から神福寺跡方便品まで 約8450m/徒歩約3時間20分

このお寺は、役行者草創の「葛城二十八宿」の「二の宿」(慈眼院)にあてられ、安置されている役行者自ら刻まれたという観音像は秘仏とされています。本堂横の地藏堂はかつての観音堂で、天正の年号の入った地藏菩薩像が立っており、喚鐘も元禄期のものです。

多奈川駅から慈眼院まで 約7770m/徒歩約2時間50分

葛峯雑記によれば、二の宿神福寺の項に「本堂十一面観音、役行者座禅石、善女ヶ池、高祖堂、其の側に塚あり。妙方便品 第二の地」と記されています。僧房跡地に和泉砂岩で造られた石祠一基があり、これを第二番経塚としています。

大阪湾

多奈川駅から佐瀬川バス停まで コミュニティバスで約30分

南海多奈川線 多奈川駅

楠木橋

西川

平山

城ヶ越山

モトリ山

沖根戸山

白ヶ谷山

慈眼院手前 佐瀬川バス停

じげんいん かんのおんじ 慈眼院(観音寺)